

ごあいさつ

日本演出者協会では1992年より韓国との演劇交流を積極的に続けてきましたが、2012年の「第34回ソウル演劇祭」においてソウル演劇協会と更なる交流のための協定書を交わしました。両国の演劇統括団体が、数年間に亘って運営している次世代演劇開発のための事業を相互に紹介し、各国の公演芸術の発展を図り、若い芸術家達に海外公演及び他国の公演芸術の体験など、多様な機会を提供することが目的です。同時に演劇と社会とのつながりを共同して高めようということも目的としました。

その第一回として2013年の5月に東北の被災地支援のための日韓合同バザーを行い、そして第二回目として2014年3月・4月にお互いの主催する演出家コンクールの最優秀受賞者の作品の紹介と交流の企画を東京とソウルで実施しました。その成果を踏まえ本年もこの交流事業を4月に実施する運びとなりました。皆様のご協力、ご来場を心よりお願い致します。

一般社団法人日本演出者協会 理事長 和田 喜夫

演出の言葉

ソウル演劇協会と日本演出者協会の推薦のおかげで、特別な観客に出会うことができ、「雪害木」が深い意味を持つ機会を頂きました。この作品は、極めて平凡な家族の典型的な問題を扱っており、演劇にありがちな、俳優が動物を演じるシーンもあります。単純なストーリーに特別ではない始まりにも関わらず、私と俳優たちは、6ヶ月間、想像力の訓練と役の構築過程を経て、人物創造に情熱を注ぎ、見えない世界の向こう側を確認するために、日々、挑戦と挫折を重ねました。

そのようにして蓄積された作品が舞台上上がった時、観客の反応は予想とは違って、大成功でした。不思議ではありましたが、とても嬉しく、公演の成功とともに暖かい指示と幅広い芸術家同志たちに出会い、様々な作品や形式を通して、多くの観客に出会うことが出来たと思っています。集団創作である「雪害木」を更に豊かなものにし、新しい「雪害木」として特別な出会いをご用意できればと思います。この作品が、全ての境界を超えて、私たちの人生から消え去りつつある大切なものについて、共感してもらえればと願っています。

作／演出 ペク・ソギョン（白 碩鉉）

プロフィール◎演出家：ペク・ソギョン（1980年12月7日生）韓国のスタニスラフスキー演技院にて、俳優業を学び、劇団チャンセを創立し、演出家に転向。その後2年間、作・演出として活動し、2013年からは、作家やドラマツルグとしても活動の幅を広げ、2015年には、韓国唯一の演出家同人「恵化洞窟1番地」6期メンバーに選ばれ、積極的に創作活動に取り組んでいる。

日韓演劇作品交流プロジェクト“演劇でつながろう”について

ソウル演劇協会主催「ソウル演劇祭」の次世代の演出家展部門「未来よ、羽ばたけ」と、日本演出者協会による「若手演出家コンクール」の両国の最優秀受賞作品を、翌年、お互いの国で上演する。

【選出作品】

- <日本> 劇 団：CHAiROIPLIN（チャイロイブリン）
作品名：「FRIEND～踊る戯曲～」 作・演出：スズキ拓朗 2015年4月、ソウル演劇祭参加
<韓国> 劇 団：劇団 昌世（チャンセ）
作品名：「雪害木」（ソレモク） 作・演出：ペク・ソギョン

■ソウル演劇協会

約6000名の演劇人が加入する「韓国演劇協会」のソウル支部。会員数の過半数がソウルで演劇活動を行っているため、「ソウル演劇協会」として独立した団体。

■一般社団法人日本演出者協会

全国約650名の演出家が加入する団体。東京だけでなく地方での演劇活動支援など、演劇活性のための様々な事業を開催。次世代の演出家を育成し、発展させるための「若手演出家コンクール」は、今年で14回目を迎え、これまでに多くの若手演出家を世に送り出している。



●あらすじ

仕事の都合で、父親の葬式に出席できなかった長男が故郷の家を訪れる。和解を期待していた母親との確執は回復不可能なようである。夜が深まると、動物（鶏、犬、黒ヤギ、豚）達は、人間によく似た姿に変身し、農作業を手伝う。彼らは踊り、自らの体で塔を作って、雨乞いの儀式を行い、神秘的な言語を使用している。翌日、末息子の家族もやって来るが、彼らは母親の収穫物をくすねることに夢中である。動物たちはただ見ていることしかできない。生活が苦しいとばかり末息子。息子たちは、一人で暮らす母親をこれ以上放っておけないのか、一緒に暮らそうと喚き立てる。結局、母親は、夫を亡くして2年で故郷の家と土地を処分し、出て行くことに心を決める。

◎雪害木（韓国語の発音ではソレモク）とは、雪の重みによって倒れた樹木のこと。激しい雨風にはびくともしない大木でも、枝先にしんと降り積もる白い雪で倒れてしまう。

ソレモク[雪害木] 劇団 昌世(チャンセ) 「幻想と現実の共存」



父親
キム・ソンモ



末息子
キム・ソングオン



嫁
チョン・ヨンビ



豚
シン・ドンイル



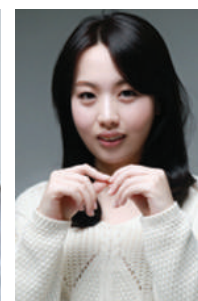
長男
ファン・ウィジェ



黒やぎ
ピョン・ミンジ



母親
イム・ジュミ



孫娘
キム・ジャヨン



鶏
イム・ヒョンジュン



犬
イ・ジェヒョク

【韓国スタッフ】

- 作・演出：ペク・ソギョン
- プロデューサー：キム・ミンギョン
- 演出助手：ホン・ユジン、シン・ソナン
- 舞台：クム・ファダン
- 照明：ソン・ミリム
- 衣装：ホン・ジョンヒ
- 音響：キム・ミンギョン
- 振付：キム・スジョン

【日本スタッフ】

- 日本語翻訳・字幕：洪明花
- 制作：日本演出者協会
阿萬由美、荒川貴代、上田郁子、齊藤由夏
- 日本側実行委員：
大西一郎、小林七緒、西沢栄治、洪明花、流山児祥、齊藤由夏